

高根沢町新庁舎等備品発注支援業務プロポーザル  
審査方法・審査基準

1 審査方法

- (1) 審査は、高根沢町新庁舎等備品発注支援業務プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）が行う。
- (2) 審査方法は、業務提案書の内容に基づいたプレゼンテーション及びヒアリングによる。
- (3) 審査委員会の各委員が3の審査基準に従い点数化して個別に審査し、全委員の点数を合計して得点の高い者から順位付けを行うものとする。なお、合計点が同じ者があったときは、提案課題の合計点が高い者を上位とし、それでもなお同点であった場合は総合評価が高い者を上位とする。  
それでもなお同点であった場合は、審査委員会が審議し、理由を付して順位を決定するものとする。
- (4) 満点の10分の6に達しない点数を付けた審査委員が過半数となった参加者については、順位付けを行わないものとする。

2 プレゼンテーションについて

プレゼンテーションの実施要領は、次のとおりとする。

- ・プレゼンテーション及びヒアリング実施時の説明者は、本業務において配置予定となる業務主任担当者とする。ただし、病休等のやむを得ない理由により欠席を余儀なくする場合は、変更後の出席者を町へ申し出た上で承諾を得ること。なお、プレゼンテーション及びヒアリングには協力会社に所属する者の出席は認めない。
- ・プレゼンテーション及びヒアリング実施会場への入室は業務主任担当者を含めて最大3名までとする。
- ・プレゼンテーションの時間は、20分以内とし、説明する順番は「高根沢町新庁舎等備品発注支援業務プロポーザル実施要領」に記載されたテーマ順とする。また、説明時間の配分は説明者において任意に設定すること。  
なお、説明時間が20分を超過した場合は、説明の途中でプレゼンテーションを打ち切ることとする。
- ・プレゼンテーションにおける必須説明事項は次のとおりとする。
  - ① 本業務の実施に当たっての基本的な取組方針、基本姿勢
  - ② 提案課題の各テーマに対しての提案内容
    - レイアウト  
(テーマ1)  
利用者に配慮された利便性の高い諸室レイアウトを実現するための視点や手法について

て

○備品選定

(テーマ2)

諸室レイアウトを踏まえて備品選定を効率的かつ効果的に進めるための視点や手法について

○経済性

(テーマ3)

経済性に優れた備品を町が調達するための視点や手法について

- ・プレゼンテーション後、質疑応答の時間を20分程度設けるものとし、質疑応答の内容も審査に含めるものとする。なお、提出書類の内容について質疑を行うこともある。
- ・プレゼンテーションにおいて説明・提案する内容は業務提案書に記載されている事項とし、プレゼンテーションの場における新たな提案はできないものとする。
- ・プレゼンテーションにあたり、プロジェクターの使用を認める。この場合において、提出書類に記載の内容(図表を含む)に限り、PowerPoint用に編集することを認める。なお、原則としてプロジェクターや端末等の機材は参加者自身が準備することとするが、事前に申出があった場合に限り、町が所有するプロジェクター(EPSON EB-W06)を使用することができる。
- ・プレゼンテーションの日時については、実施の2週間前までに、プロポーザル事務局が参加者に対し個別に通知するものとする。

### 3 審査基準

	評価項目	評価の着目点	配点
1	取組姿勢及び 実施体制	①取組姿勢 業務内容や業務課題を理解し、本業務に積極的に取組む熱意が感じられるか。	5
		②実施体制 知識と経験を有する担当者が効果的に配置され、チームとしてその能力を十分に発揮することが期待できるか。	10
2	提案課題		

	諸室レイアウト	(テーマ1) 職員も含めた利用者に配慮された利便性の高い諸室レイアウトを実現するための視点や手法について	職員を含めた利用者の利便性の向上を実現するための視点や手法を具体的に提示できているか。また、手法が効果的であり、利用者の視点を反映できる提案になっているか。	20
	備品選定	(テーマ2) 諸室レイアウトを踏まえて備品選定を効率のかつ効果的に進めるための視点や手法について	諸室レイアウトと相互に関連性を持って機能的な備品を選定するための視点や手法を具体的に提示できているか。また、諸室の機能（行政事務、文化活動、スポーツ活動）に応じた備品選定を可能とする提案になっているか。	20
	経済性	(テーマ3) 経済性に優れた備品を町が調達するための視点や手法について	品質を確保しながらも費用対効果の高い備品を町が調達するための視点や手法を具体的に提示できているか。また、イニシャルコストだけでなく維持管理の容易さやランニングコストを低減できる提案になっているか。	20
3	プレゼンテーション 及びヒアリング		① 専門技術力 説明内容が提案書の内容をよく補完しており、専門技術を十分発揮することが期待できるか。	10
			② コミュニケーション能力 質問の意図を理解し、質問に対する応答が明快かつ迅速で、スムーズな業務実施が期待できるか。	5
4	総合評価		業務の性質をよく理解した上で、本業務の目的を達成するための十分な能力があり、業務をよりよく、確実に履行することが期待できるか。	10
合 計（採点1人あたり）				100